

# お客様の在宅拝見！



## 日常と非日常の交差点

静岡市葵区 M様邸

優先すべきは自分専用の空間か、家族の共有スペースか。インドア趣味を持つ人が住まいのプランニングを行う際に、克服しなければならない課題です。M様ご夫妻が目指したのは、趣味に没頭できる空間と日常生活の使い勝手を共存させること。さて、どんな住まいに仕上がったのでしょうか。

リビングに入ると、濃色の床材と純白の壁、そのコントラストを引き立てる大きな吹き抜けが目飛び込んできます。「陽光の取り込みをかなり意識しました。吹き抜けも最初から決めていました。」と奥様。

ハイセンスなリビングと壁一枚隔てた空間は、ご主人のバイクガレージ。この住人は、イギリスシンクリー生まれの675cc三気筒、他2台。スパルタンな雰囲気が無機質な空間づくりと巧く調和しています。ちょうどその真上の空間が奥様のアトリエ。取材日は奥様オリジナルのマトリョーシカの製作真っ最中でした。ロシア産のきめ細かい白木の原木の風合いが印象的です。

「お互い趣味人ですので、その為の空間は欲しかったんですが、そればかりに重きを置かず、子育てしやすい動線を第一に考えたんです。子供は成長するにつれ、どんどんパワフルになってきますが、新築してからは子育てに余裕ができた気がします」とご主人。「生活動線がコンパクトだと、家事がスムーズになって時間ができます。その分、自分の時間が作れます。」と奥様。

新築されて変化した事を伺うと「趣味がまた増えました(笑)。」とご夫妻。「今度家具のエイジング塗装を教わってもらおうと思っています。それでインテリアをコーディネートできればいいなと思っています。」と奥様。年を重ねる毎に、新しいインテリアが加わって深みを増していく、そんな住まいに仕上がりがそうです。

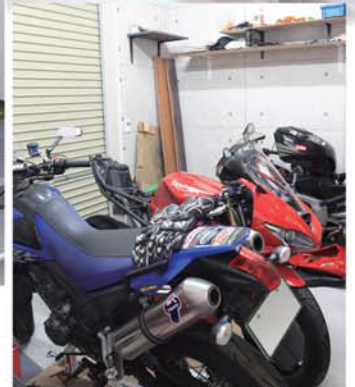
「お互いの趣味には不可侵です。」と言いながらも、自分の部屋にこもるよりも家族みんなで、リビングでゴロゴロしている時間の方が多くなったというM様ご一家。結局、自分の趣味の空間をデザインするという事は、戻って来るべき場所をきちんと作り込むという事。M様が目指したものは、家族それぞれの事を想い、尊重し合う。つまり、団らんをデザインすることもかもしれません。



リビング



陽光を取り込むリビングの吹き抜け



ハイセンスなリビングと壁一枚隔てた空間は、ご主人のバイクガレージ



2Fにある奥様のアトリエ



仏像+マトリョーシカでブツリョーシカ。奥様オリジナル作品です。詳しくはこちら▼  
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/ruinok-2/>



1F